

建設業者の決算書の 特徴と読み方

八木正宣

税理士法人SBL代表社員／
税理士／CFP®／1級FP技能士

「建設業会計」という財務会計の制度を押さえたうえで、建設業者特有の財務分析の要点を解説する。

建設業者の決算書の読み方

建設業者は、工事の着工から完成・引渡しまでに長い時間がかかるという特徴がある。売上高を計上するまでのサイクルが他の業種と比較して長く、完成した際には一度に多額の売上高が計上される傾向がある。

そのため、建設業者においては、着工から代金の回収までの長いサイクルに合わせた「建設業会計」が採用されている。この建設業会計を押さえたうえで、決算書の特徴や見方についてみていこう。



1 建設業における収益の認識基準

建設業会計を理解するために必要なのが、収益の認識基準である。収益の認識基準とは、収益を計上する時期のことだ。建設業の収益認識基準については、上場企業や大企業に対しては2022年3月期以降、会計基準の国際化の要請により五つのステップ（①契約の識別、②履行義務の識

工事完成基準は損益にばらつきも



①工事完成基準
工事完成基準とは、工事が完成して目的物の引渡しを行った時点で、工事収益および工事原価を認識する方法で、

別、③取引価格の算定、④履行義務の配分、⑤履行義務の充足）を経て収益を認識することとなっている。
ここでは、中小企業で広く採用されている工事完成基準と工事進行基準を解説する。

工事完成基準においては、工事の完成・引渡し時点で、収益と原価が同時に計上されるため、各事業年度によって損益にばらつきが生じる傾向にある。

②工事進行基準

工事進行途中であっても、毎期末ごとに工事の進捗度に合せて、収益と原価を認識して損益計算書に反映させるのが工事進行基準だ。
完成・引渡し時まで工事利益を計上しない工事完成基準と比較すると、每期コストに工事利益を計上するこ

とができるため、各事業年度において損益のばらつきが少なくなる利点がある。

ただし、工事収益総額、工事原価総額、決算日における進捗度を合理的に見積もることが必要となる。進捗度は、完成時の原価の見積額に対して、当期末までにどのくらいの原価が投入されたかなどの度合いで測られる。



2 建設業者の決算書の特徴

建設業者の決算書では、一般的な決算書では見受けられない勘定科目の名称が使われている。決算書のサンプル（図表）を基に、そうした建設業ならではの勘定科目について解説する。

①損益計算書

損益計算書において特徴的なのは、売上総利益までの前

比較的工期が短い場合に採用される。

当期に完成・引渡しが完了した工事の請負代金が、損益計算書上に完成工事高として収益に計上される。その完成工事高に対応する工事原価が、工事原価報告書において材料費、労務費、外注費、経費の別に計上される。

半の部分だ。
⑦完成工事高
一般的な決算書の売上高に相当する勘定科目で、工事を請け負った代金を、前述した収益の認識基準に基づき計上する。

建設業者の決算書を読むためには、まず採用されている収益認識基準が工事完成基準なのか工事進行基準なのかを把握しなければならない。

特に、工期の長い工事について工事完成基準を採用している場合には、各事業年度間で当期利益が上下する可能性があるため、当期だけでなく来期以降の工事利益がどのくらい計上できるのか押さえておきたいところだ。

⑧完成工事原価

一般的な決算書における売上原価に相当し、完成工事高に直接対応する工事原価を指す。その工事原価の内訳の詳細を表示し集計する書類とし

地元建設業者への 融資提案メソッド

●建設業者の決算書のサンプル

貸借対照表 令和7年9月30日現在			
資産の部		負債及び純資産の部	
科目	金額	科目	金額
I 流動資産	289	I 流動負債	70
現金預金	137	支払手形	24
受取手形	12	買掛金	7
完成工事未収入金	33	工事未払金	18
原材料	5	未成工事受金	10
未成工事支出金	102	短期借入金	11
II 固定資産	128	II 固定負債	76
有形固定資産	48	長期借入金	76
無形固定資産	6	負債合計	146
投資その他の資産	74	I 資本金	10
III 繰延資産	3	II 利益剰余金	26
資産合計	420	純資産合計	274
		負債純資産合計	420

期末の未成工事支出金は棚卸資産に計上され、翌期以降の工事原価に振り替えられる

損益計算書 自 令和6年10月1日 至 令和7年9月30日			
I 売上高			
完成工事高	768		
兼業事業売上高	46	814	
II 売上原価			
完成工事原価	497		
兼業事業売上原価	33	530	
売上総利益		284	
III 販売費及び一般管理費			
			(※一部抜粋)

工事完成基準または工事進行基準により計上

売上総利益のうち完成工事総利益は768 - 497 = 271

完成工事原価報告書			
I 材料費	86		
II 労務費	227		
III 外注費	184		
IV 経費	96		
当期総工事原価	593		
期首未成工事支出金	6		
期末未成工事支出金	102		
完成工事原価	497		

完成工事高に対応する工事原価を四つの区分ごとに記載。工期が決算期末をまたがる工事については、未成工事支出金を用いて事業年度間で調整する

(出所) 筆者作成